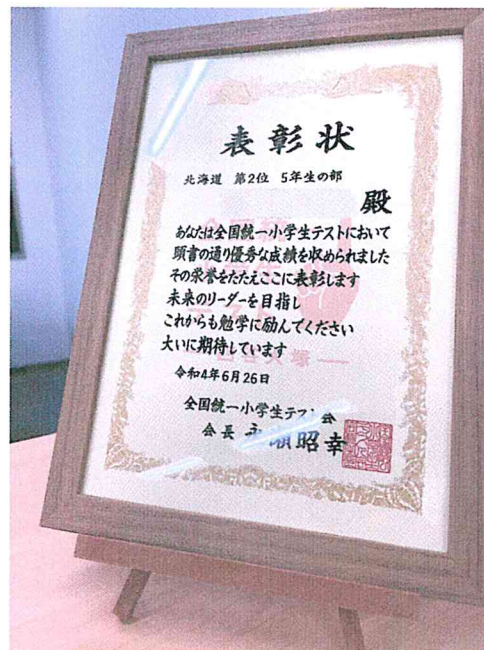


とてつもない小学生 表彰状

創刊号でご紹介した全国偏差値 75.5 のとてつもない小学生ですが、
凄すぎて表彰状が届きました！（笑）

全国統一小学生テストの表彰状は私も初めて見ました・・・

表彰状と額縁が届いたので小型のイーゼルを購入し教室に飾っています！



とてつもない小学生 その2

琴似教室には数名の“とてつもない小学生”がいます（笑）
今回はその一人をご紹介します！ 彼は琴似教室開校初期
に入塾してくれました。当時は小学4年生、勉強への意欲
はそこそこだったと思います。

それが5年生になり火が付いた・・・どころではなく爆発
しました（笑）彼が一年間でやり遂げたテキストの冊数（
5科目）は15冊を超えます！これは高校入試どころではな
く、大学受験・・・もっと言えば難関大学の受験生が
到達する勉強量です。※もちろん、難度は比較できませんが、
知識量も相当なもので、科目によっては中学レベルを超え
ています。

爆発によって点いた炎は消えることなく小6の現在も勉強
をやりまくっています！

今年の目標は20冊超えだそうです（笑）

ですが勉強にスポーツにプライベートな時間も充実させて
いるようです。小6にしてやりくりが凄いいレベルです。

中1の内容に進んでいますが、どの科目も身構えていたほ
ど難しくない（というより簡単・・・）という感想です。

頼もしいことこの上ないですね！

現段階の知識量ですすでに公立中のトップクラスは確定と
言っていいいでしょう。

この先どこまで上り詰めていくのかとても楽しみです！

そして彼と同レベルの猛者が3人ほどいます（笑）

なんだか凄いい教室になってきました（汗）

講習会風景

じめっと暑い日が続いていますね。

みなさま水分補給をお忘れなく・・・

夏期講習会は午前コマが大人気です！真剣に勉強する生
徒たちの風景をパノラマ写真で撮影してみました（笑）



午前是比较的小学生が多いです。

みんな真剣に頑張っています。

個別指導はよく、質問がしやすいそう・・・、と言われる
ことがあります。しかし生徒からの質問はそう多くはあ
りません。なぜなら、何がわからないかがわからないと
いう生徒が大半だからです。

だからこそ我々個別指導の講師たちは、生徒一人一人に
積極的にアプローチしてその子の悩みの種を探っていき
ます。その子が納得するまで何度でも角度を変えて教え
ていきます。

本当の意味で寄り添える塾を心がけています。

テストの見直し方

テストの見直し方についてお話しします。

定期テストが終わり、これから小中学生は道コンへ向けて勉強を加速させる時期です。本番の点数だけではなく過去問演習の時にも見直しは必要です。さて、多くの人が正解出来なかった問題の解きなおし覚えなおしの一点で考えています。これは重要ですが出来なかった問題を直視するだけではモチベーションは上がりません。

子どもたちにとって出来ない部分の直視は苦痛です。苦痛な作業というのは人を遠ざけます。

毎回真面目にテストの見直しをするのは不正解の少ない高得点者ぐらいでしょう。

だから少しでも次に繋がる見直し方を実践すべきです。

「結果がすべて」という言葉を耳にすることがあります。個人的には雑な考え方のように思います。より高みへ、より発展するためには理想の状況と現実との差を捉える必要があります。そうしなければ感情も動きません。結果とは希望と悔しさを胸に緻密に紡いでいくべきものです。

何事も終わりがあるものというのは少ないように思います。勉強もずっと続きますし、働いても自分の仕事の向上が止まることはないでしょう（止める人はいるかもしれませんが）。

今日紹介する方法はとてもシンプルです。

ケアレスミスの合計点を出して、理想点数を作ることです。ノーミスで実力のすべてを出し切れたらどこまで行けたのか…！

これを直視する方がよほどモチベーションが上がります。例えば、

6月1学期期末テスト						
科目	国語	数学	社会	理科	英語	合計
実点数	76	81	64	77	83	381
ミス点	6	10	7	3	8	34
	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓
実点数	82	91	71	80	91	415

このように視覚化して実感することが大切です。

この生徒はきっと400点を超えることを目標として届かなかったのでしょうか。でもノーミスなら実は400点を超えていた！この「理想の状態」を知ることでモチベーションが上がります。同時にミスに対する悔しさも生まれます。

ほぼ全ての人がミスをしますが、ケアレスミスを修正できる人はとても少ないです。

ケアレスミスを軽んじる行為がケアレスミスです。

※ケアレス（不注意な、軽率な）

「理想と現実」という言葉がありますが、これはきっと「理想＝希望」と「現実＝悔しさ」であり、2つがバランスよくつり合うことで「改善」が生まれて人は前に進んでいけるのではないかと思います。

勉強の意味

新井先生
に聞く！

皆さんこんにちは！ 琴似教室の新井です。

夏休みに入り、ほっと一息といった所でしょうか。1学期末テストの結果には一喜一憂するかもしれませんが、一番大事なことは復習です。テストが返却されたらまず見直しましょう！さて、今回の記事では「勉強の意味」についてお話ししたいと思います。皆さんはなぜ勉強するのか考えたことはありますか？学校で勉強することなんて将来役に立つの？と一度は思ったことがあると思います。残念ながら学校で得た知識を将来就職した会社などで使う機会はほとんどありません。会社に入ってから、

その業界について学ぶことがほとんどであり、求められているのは学校の成績ではなく、コミュニケーション能力や社交性など実践的な部分であることが多いです。しかし全く使わない、ということもありません。私の母は保育士でしたが中高の保健体育の知識が必要だったり、友人はプログラミングの仕事をしています数学の知識が必要だったりします。職種に応じて必要な知識も変わってきます。ではなぜ限定的にしか使わない知識を幅広く学ぶ必要があるのか。

私が考える「勉強の意味」の答えは“将来の選択肢を増やすため”です。

私の好きなゲームにドラゴンクエストという作品があります。そのゲームには職業という概念があり、下級職と上級職に分かれます。下級職には戦士・魔法使い・僧侶などがあり、上級職には魔法戦士・賢者などがあります。当然上級職の方が強いわけですから、ストーリーを進めながら上級職を目指すわけです。ただ、上級職になるためには指定される下級職をいくつか修得しなければなりません。例えば魔法戦士だったら戦士と魔法使い、賢者だったら魔法使いと僧侶といった具合です。そしてこれは現実世界でも同じことが言えます。保健体育の知識無しに保育士にはなれませんし、数学の知識無しにプログラマーにはなれません。皆さんは言わば下級職を学んでいる最中です。今の時点で将来への明確な筋道が見えている人は多くないと思います。だから自分のやりたいことが見つかった時、その時から勉強を始めるのでは遅いですから将来の選択肢を増やせるよう、今のうちから幅広く勉強しておきましょう、ということです。いかがだったでしょうか。

もちろんこれが勉強の意味のすべてというわけではありませんが、大きな理由の一つであることは確かです。皆さんが勉強することに少しでも納得していただけたら幸いです。

漢字の勉強法



こんにちは！ 琴似教室の新井です。
まず下記の文章を読んでみてください。

拝啓

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、心から感謝いたしております。

どうでしょう、この堅苦しい文章読めましたか？「祥」が少し難しいかもしれませんが、それ以外は何となく読める人がいたのではないのでしょうか。

さて、今回は漢字の勉強方法についてお話したいと思います。上の文章をこのように書くのでしょうか、、、

ハイケイ

セイカのゴウ、みなさまにおかれましてはますますごセイショウのこととおよろこびもうあげます。ヘイソはカクベツのごゴウハイをたまわり、こころからカンシャいたしております。

下線を引いた部分の漢字、正しく書けるでしょうか。漢字で書かれていると読めますが、その字を書けと言われるとなかなか難しいものです。

身近に「読めるけど書けない」漢字が溢れています。

この「読めるけど書けない」漢字を減らしていくことが出来ればかなり漢字に強くなれます。

具体的には市販の漢字検定対策本(黄色と赤の表紙)が良いと思います。

もっとお手軽には、何でもいいので文章に触れてください。小説でも漫画でも教科書でも、字幕付きの映画やドラマでもいいです。その中に出てくる「読める漢字」を頭の中で思い出してみてください。あやふやなイメージの漢字がたくさんあることに気付くでしょう。その漢字を答えを見ながら掌に指で3回書いてください。これで終了です。覚えられます。紙もペンもテキスト代もいりません。

普段の生活の中でちょっと気に掛ける程度で漢字が得意になります。私は特に小説がおススメです。個人的な体験談ですが、中学生の頃までは漢字含め国語が苦手でした。テストの結果も芳しくなかった記憶があります。しかし、高校生の時に小説にハマり、この勉強方法を思いついてから特に漢字の勉強に時間を割くことなく、大学入試の漢字は完璧に解けるようになりました。漢字だけではなく小説から読解力や心情把握の力も養うことができ、長い文章を読むことへの抵抗も無くなったおかげで、大学入試では国語の得点が一番となりました(理系なのですが…)

最近スマホやパソコンの普及により、ひらがなを打てば漢字を知らなくても勝手に変換され、手を動かして漢字を書く必要も無く、まして調べるという行為そのものが消えているように思います。

その内、漢字を書くことが出来ない日本人で溢れてしまうのではないかと心配になります。

時間も手間も必要ない、この勉強方法ぜひお試しください。